



おかむら通信 第68号

平成22年12月

皆様、お元気ですか？ この11月はとつと疲れる月でした。月と言えばふと夜空を見上げるととてもきれいな月が空に浮かんでいるのが見えますね。星も、まわりの夜間の照明がもし消えたならばさらに、星屑のように空いっぱいご覧になれるようです。今月号もよかつたらお読みください。

院長より

- ① 腎機能の低下が目立ちます。長年通院していて血管系の疾病を有する方々です。隠れたCKD（慢性腎疾患）はほとんど自覚症状が初期のころはありません。外来でともに頑張ってゆきましょう。
- ② 将来の寝たきりにならないように、いまは皆さんは自分は大丈夫と思われている方が多いように思いますが、適宜、院長が注意サインを発しているのがおわかりですか？ 時にはできるだけ受け止めて頂けるとありがたいです。
- ③ 皆様が自宅で測る家庭血圧測定値は、院長にとってとっても大切なをご存知ですか？ 診察室ではかる血圧は皆様が家庭で、仕事場で変動する血圧のなかの一瞬の値です。本当は一日中の血圧を見たいのです。それによって的確な病気の治療ができるのです。
- ④ 「薬を3か月分ください、そう何回も病院に来れません。」とおっしゃる方がいます。しかし、病気というものは毎日朝に夕に、週ごとに、月ごとに変化します。ほとんど一定ということはないのです。少なくとも出した薬の効果・体にあっているか・不具合はないかを、みたいのです。また、長らくたとえば(2か月)過ぎると患者さんご自身、ご自分の病気に対する認識が甘くなっています、それは病状が変化しても、症状にでないことが多いからです。医者なら、お顔を拝見すれば大体の見当がつきます。だから本心をいえば、月に1回はお会いしたい。急性疾患はこの限りにあらずです。
- ⑤ このところ、患者さんのみなさまからの「ご意見」が少ないようです。何でもおっしゃってください。意見箱に入れてください。
- ⑥ 乳腺疾患、特に乳がん検診において誤解をされていませんか？ もともと乳がんの治療は、外科が行います。一般外科あるいは乳腺外科が扱います。さらに診察、診断の作業も同じことです。いま、マンモグラフィーを設置して患者さんを取り込もうとする医療機関が急増しています。きちんと勉強され、資格をおとりになった婦人科の先生なら大丈夫ですが、実は以下のような事実があります。





乳腺の腫瘍をみた時、一般には入念な診察とマンモグラフィーやほかの補助診断装置をもちいます。その次に乳腺専用の超音波装置でさらに精査を勧めます。次に乳腺エラストグラフィーやCT、または超音波下生検や摘出生検も行われるという順番なのです。つまりマンモグラフィーは精査ではなくスクリーニングなのです。

⑦ 急に注目され始めた「医療情報ネットワーク」に関しては次回、詳しくお話ししましょう。

<院長の仕事コーナー> 11月

- 1/ 夜 NTT MCS IT専門家 2名と 会談 他県からの講演依頼への対応・これからの中葉県の医療のIT化について 当院にて
- 4/ 夕 保険医講習会 松戸商工会議所会館にて
- 7/ 昼間 千葉県 2790 地区 ロータリークラブ 地区大会 タイ元副首相の講演など 銚子市にて
- 16/ 夜 松戸市医師会定例理事会 千葉県医療情報ITネットの進捗状況、松戸市事業仕分け(EMIネット事業)について 医師会衛生会館
- 17/ 夜 インド(香港在住)のIT専門家と 対談 当院にて
- 19/ 夜 IT専門家 と 松戸市事業仕分けへの対応策をねる、 当院にて
- 24/ 昼 松戸市健康福祉本部参事監、室長補佐と 事業仕分けについて相互理解を図る 当院にて
夜 千葉県共用地域医療連携パス 講演会 担当理事とともに主催 松戸市医師会衛生会館
- 27/ 夕方 松戸市事業仕分けに参加 一般傍聴者多数、外部識者と政策シンクタンク「構想日本」の5人が仕分け。EMIネット応援に、医師会事務局長、参連協構成員、市議会議員、行政職員。
仕分け人の方のほとんどの方は、むしろ先進的なこの事業に大変理解を示されていたのが印象的でした。日本全国さまざまな分野でIT化が進む中、医者の世界がボコッてへこんでいるようですね。海外の先進国(アメリカ・カナダ・デンマーク・フランス・オーストラリア・ドイツ・韓国)のように国が医療の世界に強力なインセンティブ行使することも必要なのでしょう。 松戸市中央保健福祉センター(仕分け)と市役所新館大会議室(総評)にて

当院のホームページ www.okamuraclinic.com

今月は似顔絵を書いてみました
いかがでしょうか?

スタッフ
の誰です。



寒くなってしまったので
風邪などひかないよう
手洗い うがいをして
下さいね。



今月号の担当は
川名でした。